

社会福祉だより

あわせ

2024年7月
(令和6年)
175号



わが町の
ボランティア



～ひまわり会(70歳以上のひとり暮らしの方の交流会)で
踊りと大正琴を披露していただきました～

ほのぼのケアセンター紹介

ケアマネジャーとは

ケアマネジャーの正式名称は「介護支援専門員」と言い、通称では「ケアマネ」とも呼ばれます。介護認定を受けた方が介護保険のサービスを利用するにあたり、ご利用者、ご家族に合ったサービスの調整をする専門職です。

ケアマネジャーの仕事とは

ケアマネジャーは介護を必要とする人やそのご家族から現在の状況や困りごとを聴き取ります。そのうえで「どのような支援が必要なのか?」を考えて、「ケアプラン」と呼ばれる介護保険利用サービス計画書を作成して、ご本人ご家族と各サービス事業所との間に立って円滑にサービスを利用できるよう調整役として支援します。

支援の実情

昨今の状況として、3年に及んだコロナ禍が大きく影響して要介護状態となる人が増加しました。現在、ほのぼのケアセンターでは6名のスタッフが町内の要介護1～要介護5までのご利用者、約180名の方々に関わらせていただいています。高齢化率が全国平均で約29%に対して智頭町は約45%と高く、一人暮らし世帯の割合も増えて介護保険サービスだけでは支えきれないなどの大きな問題を抱えています。

るべき支援について

ご利用者より「住み慣れた地域で出来る限り長く暮らしていきたい」との切実な声が聴かれます。一昔前はこのような制度がなくても、皆が力を合わせて地域で暮らしていました。よって、これからの支援は介護保険サービスだけに依存することなく、それぞれの地域にある「地域の協力の輪」の一員として貢献していくことも「居宅介護支援事業所」の役割だと感じています。

町内全域に出掛けているので、ご意見などございましたら、お気軽にお声をお掛けください。

連絡先

TEL
(76)
1100
ほのぼの
ケアセンタ



ぱれっと三田

紹介



ハイカラ市にて

ぱれっと三田では就労

継続支援B型の作業の一環

でお菓子を製造し、ほのぼのや町内の企業などで販売している他、町内外で行われるイベントに参加して菓子販売を実施しています。智頭町のイベントとして4月は桜力フェス、10月の文化祭やほのぼのフェスタ、11月のハイカラ市や2月の雪まつりなどに参加してい

ます。定番の焼き菓子や季節に合わせたスイーツ、お菓子のほかにもホットドックなどの軽食、自家栽培のブルーベリーを使って作るスムージーなど、イベントに合わせてお客様に喜んでいただける商品を販売しています。これからも様々なイベントに参加し、皆様にぱれっと三田を知って頂きながら地域との交流を図っていきたいと思っています。



2024年度
社会福祉協議会

会費納入のお願い

全世帯にお願いしています

会員として会費にご協力いただくことは、町民の皆様が地域福祉活動に参加する一つの方法です。そのため、智頭町の全世帯からのご協力をお願いしています。



お願いする金額

1世帯あたり1,000円です。

期 間

7月1日から31日まで、集落の世話人さんに集金をお願いしています。

会費は、町社協と地区社協で半分ずつ活用しています。

【地区社協】

各地区社協で使い道を決め、様々な行事や広報活動等、皆様にとって身近な福祉活動のために活用しています。

【町 社 協】

町民の皆様へ社協の取り組みや地域の皆様の活動の様子、お知らせ等を紹介する啓発活動や、福祉活動に活用しています。

「令和6年能登半島地震」職員派遣

総務課 地域福祉グループ 岡本 莉歩



令和6年能登半島地震の派遣職員として2月14日から19日まで、石川県志賀町で活動してきました。業務内容としては、支援物資や避難物資の荷さばき、指定避難場所へ食料や要望品の配送です。

指定避難所に配送する途中、道路の地割れや被害にあった家屋が見られました。道は補修されているものの、でこぼこ道で走行中車体が大きく揺れました。また、瓦屋根の応急処置用にブルーシートの需要が多く寄せられていました。

私が担当する指定避難所は5か所あり、仕分けは多くて460人分ありました。食料はおにぎりやパン、お弁当です。避難者が必要としている日用品等の物資も配送していたので、“避難者を支える”とても重要な役割だったと振り返ります。

そして、活動する中で“人手不足”が課題にあがっていました。これから復興するにあたって、災害に対する知識や経験を持っている人材が必要だと実感しました。

今回、志賀町の力になればと責任を持って取り組みました。現地での経験や学びは、自分の成長につながっています。今回の経験や学びを、智頭町災害時ボランティアセンター・マニュアルに反映させたいと思います。



支援物資の荷さばきの様子です
間違いなく、正確に行なうことが大事！

総務課 地域福祉グループ 藤内 洋行



3月25日～31日、石川県能登町災害ボランティアセンター内浦本部で活動を行いました。

能登町災害ボランティアセンターは1月6日に開所、同月26日からボランティアの受入が開始され今多くのボランティアを受け入れています。

現地での活動はセンター運営全般でボランティアの受付、マッチング説明、ニーズ受付、現地調査、作業現場までのボランティア送迎や資材の受け渡しなど、すべての業務を役割分担では無く、出来る作業を手が空いている者が行うという状況でした。そのような中で特に苦慮したのがニーズ受付と現地調査でした。作業内容や困りごとを聞き取り、依頼内容の漏れの無いように現地調査を行い作業用の資料を作成するのですが、方言で内容が聞き取りづらかったり、住所や番地などが複雑で場所が特定できないまま、スマートフォンのナビアプリを使い一人で現地に向かったり、知らない土地で被災者に寄り添った活動を行うことの難しさを感じました。

大規模な災害が発生すれば町内はもちろんのこと近隣市町村も含め誰もが被災者となります。そのような中でボランティアセンターを運営するには他の団体、NPOとの連携や協力が不可欠であり、社協職員として地域の情報を共有しながら柔軟に対応する能力が必要となります。社協内での研修や運営訓練、また実際に被災地のボランティアセンターの運営に参加し経験を積むことが、被災者に寄り添い続ける支援に繋がると感じました。



待機中の災害ボランティア

福祉委員研修会を開催しました

～福祉委員は『地域の見守り役』です～

智頭町社協では、基本的に各集落1名以上、福祉委員を置いていただいている。

困っている人は自分から「困っている」と言えない、または「本人は困っているつもりはない」という場合が多いです。そんな時、“見守り”役の福祉委員が「前と様子が全然違うけど大丈夫かな…?心配だな…」「民生委員さんに相談してみようかな」などと、身近な相談先に相談することで、困りごとが見つけやすくなります。

かねてより「福祉委員は何をするのか分からぬ」という意見があり、4月21日(日)ほのぼのひだまりホールを会場に、今年度福祉委員になられた方を対象に「福祉委員研修会」を開催しました。



研修会には福祉委員と地区社協、民生委員の
39名が参加してくださいました

会場に集まつた皆さんから「福祉委員の役目がよく分かった」「福祉委員の役が終わっても出来ることは続けていきたいと増々思った」等の声が上がっていました。普段の生活を一番知つてゐる集落の方に「見守り」役になっていただき、身近な人を気にしあう輪が増えていくことを願っています。

「ふれあいサロン・ミニデイ交流研修会」を開催しました

ふれあいサロン・ミニデイの代表者と会員のみなさんを対象に、3月14日(火)ほのぼのひだまりホールを会場に交流研修会を開催しました。活動実績の報告と更新手続きの説明、鳥取県立中央病院から出前講座出張のお知らせ、福祉課から元気はつらつ教室の案内がありました。また、「通いの場と健康の関係性」について研修し、サロン・ミニデイ活動の意義を改めて理解していただきました。

サロンは、年齢制限のない「仲間づくり」を目的とした集まりです。

ミニデイは、60歳以上の集落、町内会単位で「健康の維持・増進、生きがいづくり」等を目的とした集まりです。どちらも、町内在住の皆さんのが集い、住民同士が楽しく過ごし交流を深めていく会です。

皆さんも是非ご参加ください。

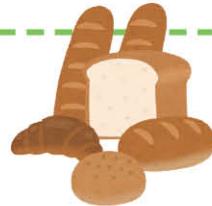


勝手に表彰!

第38号



ふじわらさつき
藤原五月さん(山郷)



藤原さんは、樽福会(サロン)やひまわり会のお弁当作りボランティア(山郷地区)の代表や配食サービスのボランティアとして活動をされています。また、自宅でパン教室を開催し、小学生や町内外から幅広い層の方が参加されています。

15年前に夫の地元智頭町に帰ってきた藤原さん。「知らない土地での友達づくり」「自分が好きなことを続けるために」パン教室の学校に通い資格を取得しました。

幼少期はおままごとが大好きな女の子。料理好きはお母さん譲りのようです。

サロン活動は地域や智頭町の郷土料理を習いたいのが目的で始まり、毎月1回福原公民館で会食＆交流をしています。「ボランティア活動やサロン、ミニディに参加して地域を知り仲間ができました」「パン作りで友達もできました」と藤原さん。

「美味しかった」という言葉を原動力に、料理本を見ては、材料や味付けをアレンジして田舎に合う料理を作ります。

料理を通じて人と人をつなぐ藤原さんを勝手ながら表彰します。



「志あわせ」の
ご意見・ご感想を
お寄せください

抽選で2名様に
プレゼントを進呈
します。



①応募方法

ハガキまたは応募用紙等に住所・氏名・電話番号・年齢を明記のうえ、ご意見・ご感想をご応募ください。

②応募先

〒689-1402
智頭町智頭1875番地
智頭町社会福祉協議会 総務課
電話: 75-2326
メール: chizu0804@jade.plala.or.jp

③締め切り

2024年7月31日(水)

※当日消印有効

読者の
ひろば



▼前号の「志あわせ」を読ませていただきました。津田会長、高田事務局長お二人ともずいぶん前に私が心和苑に臨職として勤務している時、一緒に働いていたのが懐かしく、感謝感謝です。そしてこの頃はひまわり会でお世話になっています。ありがとうございます。たくさんの方にも心より御礼申し上げます。

(智頭 70代女性)
「志あわせ」174号が届いた。

冊子の顔とも言える表紙は、こ
☆ご感想ありがとうございました。
ができます。世の中の多くの人々の幸福を考えた、たくさんの取り組みが実践されていることに感謝です。「志あわせ」イ
コール「幸せ」と思って読んでいます。(那岐 80代女性)

の時期に相応しい桜色!!中央には、智頭町赤十字奉仕団のボランティア活動の様子が登場。奉仕をさせていただくことに喜びを感じたひと時でした。実は私も団員の一人です。(退職後から現在に至る)「志あわせ」のページをめくれば、その都度大切な情報を読みとり、知ることができます。

智頭町社協に新たな仲間を迎えるました

～入協式を開催～

4月1日、新たに3名の職員を迎える入協式を開催しました。

新しい仲間と共に「智頭町で安心して暮らせるしくみを創る」という使命を果たすために、職員一同、力を合わせていきます。



古着・古布の寄付ご協力のお願い

家庭で不要になった古着、タオル、ハギレなどを寄付していただけませんか。



- ①吸水性が良く、清潔なもの
- ②浴衣・Tシャツなどの古着

裁断していただく場合の目安：15cm×20cmくらい

※大変お手数ですが、智頭町社協までご持参ください。持参が難しい場合は、下記へご連絡ください。

お問合せ：総務課 電話75-2326

ご寄付ありがとうございました

(2024年3月～2024年5月まで)

*米10kg(ぱれっと三田へ) 匿名

*古布・タオル・裁断布 等

長谷智恵子 様

小林 穎子 様

山本 昭枝 様

谷口 美男 様

鳥取南更生保護女性会 様

匿名多数

*CD(ひまわり会へ) 堀八 良子 様

*ぱれっと三田・自立の家・あおぞら(グループホーム)
配食サービスの各種食材

各地区給食ボランティア 様 匿名多数

香典返し等寄付金ありがとうございました
(2024年3月～2024年5月まで)

◎了解をいただいた方のみ掲載しております。敬称略

香典返し寄付金は、サロン活動等で地域の皆様に活用していただいています。

		5				4				3				月		
五〇、〇〇〇	金一封	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	金一封	三〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	金一封	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	ご寄付額(円)	住所
智頭	口波多	口波多	郷原	南方	埴師	中田	智頭	新見	三田	智頭	大呂	福原	早瀬	東宇塚	新見	市瀬
酒本	河上	湯谷	福永	山崎	草刈	谷口	長谷	河村	岩本	笛尾	山本	玉木	古田	赤堀	河村	植木
八重子	薰樹	哉	さち子	典子	範明	信美	静枝	康晴	郁夫	澄子	幸恵	光枝	静恵	睦子	茂	敦子
98	79	97	84	96	87	87	97	69	88	97	101	94	82	87	102	100
酒本	河上	湯谷	福永	山崎	草刈	谷口	長谷	田中	岩本	笛尾	山本	玉木	古田	赤堀	河村	植木
昌行	博美	満寿男	和夫	和人	伸一	美男	弘一郎	眞由美	孝治	義弘	正明	秀樹	雅彦	昌章	好博	克茂

ふれあいサロン紹介

たら ふくかい

樽福会(山郷)

Vol.76

・登録数 112グループ ・登録者数 1,631人（5月31日現在）

樽福会は、季節ごとの郷土料理を皆で作ったり、福原パーキングエリア周辺の清掃活動を行なっているサロンです。会員は、14名で毎月1回福原公民館に集まって活動しています。今日は、バラ寿司やわらびの煮つけ、うどの天ぷら等旬の食材を使った多くの料理が並びました。また、そば粉を使ったクレープやニラのマヨネーズ和えといった創作料理も並び、とても美味しかったです。

9時に集まり調理を開始。特に担当はなく、主に年齢の大きい方が調理をし、若い人が力仕事をしています。息ぴったり、あうんの呼吸でご馳走ができあがります。

午後からは、手遊びや頭の体操を行っています。頭を使ったということが大切で、失敗しても笑って楽しく取り組んでいます。

おしゃべりと笑顔が絶えない樽福会。これからも今のメンバーで元気に和気あいあいと続けていきます。



ふれあいサロンは一部赤い羽根共同募金の配分金で運営しています。

ふれあいの場

ミニディ紹介

Vol.46

60歳以上の方の健康の維持・増進・生きがいのある生活を支援する活動「ミニディ」の活動を紹介します。
登録数:35グループ 登録者数:566人（5月31日現在）

東宇塚ミニディ(那岐)

東宇塚ミニディは、会員17名で平均年齢は79歳。調理する人、料理を並べる人とみんなが役割を持って活動を行なっています。

今日のミニディは、朝早くから集まって調理し、栗おこわや赤魚の南蛮漬け、豚汁等多くの料理ができました。お汁には、酒かすが入っていて良いアクセントに♪

持ち寄りの漬け物や甘酒が加わり更に豪華になりました。どの料理も上出来で、美味しいくて、みんなの顔がほころびます。

午後は、社協のフレイル予防と権利擁護の話、頭の体操に挑戦しました。

「家にいるより、みんなで集まったほうが良いな」「健康のためにミニディに参加するだが」と、改めて通いの場の大切さを振り返り、みんながうなづきます。これからもお互いを気にかけ、笑い合いながら、自分たちのペースで続けていきます。 会員が準備した替え歌で脳トレ!



喋って、食べて、飲んで、元気いっぱい！



盛りだくさんの料理とデザートの完成！